

広 報

# とままえ

発行 / 北海道苫前町  
編集 / 企画振興課広報広聴係



風かおる  
人が輝き  
躍動するまち

No.527  
2005

7



苫前町議会だより(No.60)合併号  
「議会だより」は2頁～5頁に掲載しています。

## まちの人口

人口 / 4,165人  
男 / 1,965人  
女 / 2,200人  
世帯数 / 1,758世帯  
(5月31日現在)

6月といえば運動会  
町内の小中学校並びに保育園(所)では  
毎年恒例の運動会・体育大会が行われ、  
児童・生徒・幼児らは、家族とともに楽しい一日を過ごした。  
プログラムでは、綱引きやリレー、大玉転がしなど  
運動会ならではの種目や、  
タンピング(古中)、大縄跳び(苫中)など  
それぞれが伝統的に取り組む種目もあり、  
父母や祖父母もはりきって参加していた。



標語 あかしんごう あおになるまで まちましよう！

古丹別小学校1年 永井 星奈さん

# 議会だより



No.60

苫前郡苫前町字旭37番地1 TEL64-2385

委員長 阿部 俊一  
 副委員長 青木 幸隆  
 委員 藤田 憲二  
 // 猫島 優  
 // 西 大志

## 平成17年 第2回定例会

平成17年度苫前町各会計補正予算  
 一般会計 3千891万7千円を追加し  
 歳入歳出予算の総額を41億5,789万7千円とする。

平成17年第2回定例会は6月16日招集され会期を17日までの二日間と決め、町長提出の予算四件、条例改正等五件、議員提出の意見案等六件の議案を審議し、いずれも原案通り可決した。

### 補正予算の主なもの

#### 議案第44号 一般会計(第2号)

地域集会施設改修補助金	2,362千円
港生活改善センター 外壁補修工事	1,800千円
力昼生活会館 窓雪止め柵取り付け工事	182千円
旭克雪管理センター 軒先腐食補修工事	330千円
小川研修センター 駐車場陥没箇所補修工事	50千円
苫前町地域通貨試験流通事業補助金(1/2国庫補助含む)	2,264千円
新日本海地域交流センター運営補助金	23,000千円

## 議案の内容

(一番地)

議案第45号  
 老人保健特別会計補正予算  
 (第一号)  
 補正額 一五,九四〇千円  
 総額 七〇三,九七九千円

意見案第1号

緊急地域雇用創出特別交付金制度の延長・改善を求める意見書提出について

意見案第2号

北海道における「市町村合併推進に関する構想」策定等に関する意見書提出について

意見案第3号

道路整備に関する意見書提出について

意見案第4号

温暖化ガス吸収源としての森林機能対策充実に関する意見書提出について

議案第47号

国民健康保険条例の一部を改正する条例(国民健康保険税介護納付金の税率の改正)

議案第48号

国民健康保険特別会計補正予算(第一号)  
 補正額 二,一七八千円  
 減額 二,一七八千円  
 総額 四八八,四四五千円

諮問第1号

人権擁護委員の推薦について  
 大矢根正春氏(字古丹別二四一番地)

推薦第1号

農業委員会委員の推薦について  
 大矢根正春氏(字古丹別二四一番地)



# 一般質問

## 2 議員が 町政を問う！



猫島 議員

苦前町公の施設に係わる指定管理者の指定の手続き等に関する条件について

この案件は国の構造改革の基本方針に伴い「民間で出来ることは民間に」をモットーとしたものであると思う。単に行政側が財政危機の深刻化に伴う歳出の抑制だけではなく、行政が行なってきた事業や事務を洗い直

し、町政がやるべきことと民間委託の方がよりよいものを総合的に精査、整理するものとともに多様化する町民ニーズ、特にサービスの継続性、安定性へどう対応するのがキーポイントと私は強く思います。そこで、これからのプログラムとして指定管理者の範囲が広がり、民間企業やNPOなどを含む法人その他の団体が議会の議決を経て、公の施設の管理を行なうことが可能となるわけですが次の点についてお聞きします。

町内において指定管理者制度により委託が考えられる施設は、財政的メリットをどう確立するのか。仮に来年3月以降協定締結すると委託料が発生する。このデメリットをどうメリットに結びつける方策は。

「官から民へ」の行財政運営の構造改革及び規制緩和の観点、「住民サービスの向上と経費削減」、「自治体出資法人の経営健全化と整理、統廃合」の三つの観点があるものと承知しております。

### 答弁 森 町長



公の施設の管理に関する制度が改正され、管理の委託制度から、民間事業者を含む指定管理者による管理の代行制度への転換が行われたところであります



とままえ温泉ふわっとロビー

が、この法改正の背景として、「官から民へ」の行財政運営の構造改革及び規制緩和の観点、「住民サービスの向上と経費削減」、「自治体出資法人の経営健全化と整理、統廃合」の三つの観点があるものと承知しております。

町としては、条例の趣旨、内容等を踏まえ、指定管理者制度の適切な対応をして参りたいと考えております。

指定管理者制度への移行については、新日本海地域交流センター、苦前町生きがいデイサービスセンター、苦前町若者交流センター、シーフロントパークとこれに類する包括的業務委託を行なっている苦前町青少年研修センターの五施設は、現下の状況では、直営に戻すことが相当困難なことであると考えておりありますので、指定管理者制

度の導入を取り組むことによりあります。

また、苦前町公民館などの施設に見られるように、町の行政機関等が、行政の推進・運営と一体的に公の施設を管理・運営などしている場合につきまして、指定管理者制度が住民サービスの向上と経費削減に直ちに結びつかないこともあり得ることから、当面、公の施設の直営を堅持して参りたいと考えておりますが、直営を継続する場合にありまして、業務委託の徹底活用などによる経費削減について、引き続き不断の努力をして参りたいと考えております。

自治体基本条例の制定にあたり現状の分析とスケジュールについて



西 議員

条例制定にあたり、現状の認識・分析(町全体)はどのようなに捉えているのか。まず、ここを町民等(町民・議会・職員)に周知・情報提供として流す必要があるのではないのでしょうか。そのスケジュールは、どのよ

うになり、無理が生じないのか危険ではないのか、どのような政策実行に結び付けていくのか。

### 答弁 森 町長

「まちづくり懇談会」、「まちづくり出前講座」各分野における説明会などで積極的に情報を公開するとともに、町民と共に考えていきたいと思っております。これらの基本姿勢をあらゆる行政分野に拡大させ、発展させていく必要があります。

条例の内容は、町民の暮らしを制約するものではなく、これからの町政の基本姿勢・町民の権利や、町民・議会・町の責務を明らかにしていくこと、総合振興計画を町づくりの根拠として策定委員会や議会における検討結果のほか、町民の意見を反映させたものにした。

また、条例策定後においても不断の検討を加え、町民が「守り育てていく条例」としたい。スケジュールにつきましては、総合振興計画、各種計画のほか合併関係の対応、財政健全化への取り組みなどの行政課題について、町民・議会・町が共に考え、解決策を探り、行動し、地方分権時代にふさわしい、自立した地方自治を実現のため、可能な限り早期の条例制定を目指す考えです。

(再質問・西議員)

条例自体が住民にどれだけ理解されているのか、住民との協働であればもっと相互理解されたい。掲げたものだけになってはいけなく、早期に制定したい最大の理由は何かお聞きします。

答弁 森 町 長

掲げたものだけではいけないことは重々承知しております。抽象的な文章が多く、住民に浸透しにくい。したがって、ポイントはこのようにした条例を作るか否か、良いか悪いかといった住民の判断と考えております。

住民の主張などをしっかり文化する事が最大の狙いです。行政が主導し、制定後はじめは浸透しなくても、守り育てていく条例としたい。早期制定の理由は、総合振興計画の立ち上げる時期で、一からはじめられること、条例をつくり、住民が盛り立てて行くシステムづくりです。

(再々質問・西議員)

この条例は住民発意が理想形で、行政がアクションを起こすことは良いが、主導し早期制定するのであれば理解を深める手法が既に確立されていなくてはならない。条例制定後に課題・問題が多々残らぬようにするためにはどんな考えをお持ちか。

答弁 森 町 長

住民発議が理想は、私も基本的に思っています。しかし、住民に対して条例制定のために集まって頂き考えることは非常に時間がかかる。行政で筋道をつけたく制定後に数年をかけて様々な方法で理解していただきたい。

今後、各団体から推薦をいただき検討委員会を立ち上げ、七月に条例案の策定検討(週に一回程度開催)。七月下旬には、ダイジェスト版等を作成、八月にパブリックコメントを行い、下旬頃、修正案を作成といったスケジュールで考えております。

既存の公共施設への今後の対応について  
西議員

現在、残存する公共(的)施設の今後の中長期的なあり方としてどう考えておられるのか。また、スクラップ&ビルドの精神を取り入れ考察し、種々の計画にいかすべきではないでしょうか。

答弁 森 町 長

施設によっては年数の経過から使用目的が終了したものの老朽化により使用に支障をきたすものが出てきます。施設の修繕には多額の費用が

かかります。目的が終わったものは再利用、売り払い処分します。

修繕可能なものは修繕し、それ以外は取り壊すこととしていきます(補助金等の関連で、簡単に取り壊しの出来ないものもある)。老朽化した建物は、災害時非常に危険なため、予算の許す限り、国・道の承認を得た上で取り壊していきたい。

ただし、利用可能な施設については政策上、生かせるものは積極的に利用していきたい。

(再質問・西議員)

各種計画、指定管理者制度もあり、実効的なものにするには、施設の具体的なあり方を民間の各委員を含め、示さなくてはいけないのではないかと。

答弁 森 町 長

各施設ごとに官民協働の精神を伝えることは、もちろんのことです。使わせて欲しいとの思いが強いものもあるし、住民の意思は尊重し、使わせる方向も汲み取った中で、対応したい。

(再々質問・西議員)

財政状況を勘案したとき、住民から使わせて欲しいという前に、苦前町の状況を伝えて協議しているのか。

答弁 森 町 長

財政状況につきましてはしっかりと伝えてまいり、しっかりと周知してまいりました。苦前町の状況はおそらく相当数の方が理解しています。住民の要望はどうなのかしっかりと踏まえ協議していきたいと思っております。

社会教育における地域の関わり・重要性について  
西議員

先のチャレンジデーを機に一層、社会教育の重要性を認識させられました。この教訓を生かし、今後地域に対しての関わりと重要性の部分はどう捉えているのか。



役場職員による大縄跳び

答弁 廣瀬教育長

第三回目を向かえたチャレンジデーですが(参加率八四・三



割)この事業が市民権を得たものと確信しております。成功の陰には、町体育指導委員が自主的に戸別訪問し、多くの各町内会役員・体育協会が、この事業の意義・参加を訴えた成果の結果であると考えています。

チャレンジデーをきっかけに日常生活の一部にスポーツ・運動を取り入れ心身ともに健康な生活を送ること。失われつつある地域連帯感の回復、世代間の交流、官民協働によるまちづくりの気運を高めることを狙いとしています。長引く不況や町財政の硬直化、少子高齢化など町を取り巻く厳しい状況のなか、図書室サポーターが自主的な事業の企画等、学社融合事業、子育てボランティアなども地域との繋がりを強めてきています。平成十八年度から向こう五年間の第六次社会教育中期計画を策定することとなり、新たな地域課題や発達課題に即した計画を策定してまいりますので、多くの皆様のご意見やご支援、ご協力をお願い致します。

# 委員会レポート

## 臨海地域 特別委員会

平成17年  
6月開

（株）苫前町振興公社（ふわつと）は、十六年度の営業報告書を次のように提出した。

- 定時株主総会
- 平成十六年六月二十五日開催
- 株主総数 六十名、
- 発行済株数 二、〇〇〇株
- 取締役会

十六年度中、十三回開催し、毎月の営業状況、経費の削減、職員の教育等々を協議し、指導している。

### 損益計算報告

- ・売上高 二億一、三二六万円
- ・売上原価 六、三〇四万円
- ・売上利益 一億六、〇二二万円
- ・一般管理費 一億八、三一九万円
- ・営業利益 二、三〇七万円
- （次期繰越欠損金 八、二五三万円）

前年対比売上高六百六十六万円の減、入客数一万二千二百三十人の減とそれぞれが減少となった、職員の削減、経費の節減に努め、集客に努力はしたが、売上高及

び入客数は当初の計画に達する事なく、赤字決算となり二千三百万円を運営補助金として、町に求めた。

この施設は本町の魅力と特色を活かした複合施設（温泉、宿泊、レストラン、物産販売など）として本町の振興発展に大きく寄与するほか、地域住民の健康づくりや憩いの場としての役割も果たしている。

今後、本町に於ける地域振興上、必要不可欠な施設であることから、同社の安定的な経営のために、運営費の一部を補助するものである。

## 全員協議会

平成17年  
6月開

### （一）協議事項

地域通貨試験流通事業補助金について

- ・事業主体 苫前町商工会
  - ・事業費 七九一万円
  - ・内、国庫補助金 一一三万円
  - 町補助金 一一三万円
- 長引く不況による消費の落ち込み、大型店の進出による消費

の町外流出など、商工業を取り巻く状況は依然として厳しく、地域商店街は売上げの減少など苦境に直面している。この事業は平成十六年度、北海道商工会連合会の「地域通貨実践モデル事業」のモデル地域として、地域通貨の試験流通を行った。前年度事業における課題や問題点を踏まえ、更に検討する事を目的にこの事業を実施する。

### （二）報告事業

まちづくり基本条例の概要 この条例は、まちづくりを進めて行くうえでの理念に加え、

町民の権利や町及び議会の責務、町政の運営にあたって住民参加や協力の実施に関する事項、総合振興計画をまちづくりの根拠とし、その策定手続きを定める「まちづくりの憲法」と位置づけるものである。

- ・策定作業
- 各種団体からの推薦者（二十名）
- 住民一般公募者（五名）
- 一、条例案の策定
- 二、住民周知、意見集約
- 三、開発審議会

四、議会に提案（九月議会）  
苫前中学校改築事業  
兼ねてより認定申請していた学校屋外教育環境整備（グラウンド）事業の国庫補助金が確定した。

- ・工事費 二、四一七万円
- ・国庫補助金 七八七万円
- （三分の一）
- ・一般会計 三〇万円
- ・基金繰入 一、六〇〇万円

### 港生活改善センター

外壁補修工事  
昨年の十八号台風及び留萌南部地震による被災で、外壁が落下し今後更に危険な状態となるための補修である。

- ・工事費 一八〇万円（町補助）

等を処分するものである。  
・教員住宅四棟売却予定  
（二棟売却済み）  
・体育館 売却予定  
・校舎 売却予定  
（一部数年後）

### 留萌管内米穀広域

集出荷施設の建設  
留萌管内産米のマーケティング戦略と結びついた広域産地形成の推進とその核となる米穀広域集出荷施設の建設を前提とした具体的な検討を昨年より進められてきた。「売れる米作り」に向けた総合的な改善を図るため、流通、販売戦略上の拠点施設として整備するものである。

- ・事業内容
- カントリーエレベーター1棟
- シヨベル1台、リフト1台、
- 低温倉庫1棟、環境整備1式
- ・集荷範囲
- 南るもい農協、苫前町農協、
- オロロン農協
- ・建設予定地及び事業主体
- 小平町字富里、小平町（予定）
- ・事業年度 平成十八年度
- ・事業費
- 二億五、七〇〇万円
- （うち補助金二〇億八、一〇〇万円、補助残二億七、六〇〇万円）



台風被害を受けた港生活改善センター

旧力唇小学校校舎の売却  
今春の閉校による学校の敷地

# NHK放送運用開始 防災のてきび全戸配布

『大津波（津波）警報』が出された場合、苫前町での避難勧告・指示発令の確認を省略し、警報発令後直ちにNHKのテレビ・ラジオにより「苫前町の沿岸部に避難指示（勧告）」と放送されます。  
この情報を確認した場合には、役場等からの避難勧告等が伝達される前であっても、即座に避難して下さい。

町では、災害に対する住民の備えや災害時の行動について『防災のてきび』を作成し、町内全戸に配布した。

この「防災のてきび」は、非常時における家庭での備蓄品などを紹介。台風や地震などでの災害時の行動をマニュアル化し、安全に避難できるよう分かりやすく解説している。

また、災害発生時の一時避難



場所（一時的に避難する場所）町内二十二か所）や収容避難所（避難した人を収容する施設）十七か所）を指定している。

「防災のてきび」を作成した役場総務財政課交通防災係では、「避難にあたっては、地域内の災害弱者（高齢者、乳幼児、病人等）の避難援助についても、地域ぐるみで配慮されますようお願いいたします」と災害時の住民相互の協力体制を呼びかけている。

詳しくは、各戸配布の「防災のてきび」をご覧ください。  
災害発生時の避難場所は、次のとおりです。

### 一時避難場所

旧力屋小学校グラウンド、苫前町上平共同利用模範牧場、港生活改善センター前広場、苫前小学校グラウンド、苫前中学校グラウンド、栄浜生活改善センター前広場、豊浦生活館前広場、伊藤昌栄宅前、昭和住民センター前広場、旭克雪センター前広場、

香川転作研修センター前広場、長島寿の家横広場、長島生活改善センター前広場、古丹別小学校グラウンド、古丹別中学校グラウンド、苫前町野球場、古丹別緑ヶ丘公園、九重コミュニティセンター前広場、旧三溪小学校グラウンド、岩見ふれあいホール前広場、東川町内会館前広場、小川研修センター前広場

### 収容避難所

力屋生活館、上平ふれあいセンター、とままえ温泉ふわっと、苫前町福祉センター、栄浜生活改善センター、豊浦生活館、昭和住民センター、旭克雪センター、香川転作研修センター、長島寿の家、長島生活改善センター、苫前町公民館、九重コミュニティセンター、三溪へき地保健福祉館、岩見ふれあいホール、東川町内会館、小川研修センター

## 危険業務従事者功労 加藤富雄さんに叙勲伝達



受章を喜ぶ加藤夫妻（中央）と森町長（右）、西山留萌支庁長（左）

春の叙勲に併せ危険業務従事者叙勲（消防功労）での瑞宝単光章を受章した加藤富雄さん（77才、字古丹別）に、六月九日役場町長室で西山留萌支庁長から叙勲の伝達が行われた。

加藤さんは、昭和二十一年苫前村消防団員となり、翌年同村消防団員、同二十五年に同町消防団常備消防員の拜命を受け、同四十八年北留萌消防組合設立とともに同組合消防吏員として勤務。その後、昭和六十年に退職するまでの

三十九年間にわたり、消防の第一線で活躍した。特に、昭和四十八年八月の集中豪雨災害で東川地区住民のゴムボートによる救出活動や五十四年二月の九重地区での農家火災で、吹雪も顧みず近くの川にポンプを設置し、身を凍らせながらも延焼防止のため、水利確保を行った。叙勲を受けた加藤さんは、「先輩や同僚のお陰です。家内には苦勞かけました。感激でいっぱいです」と喜びを語った。

## みんなで改善・職場の安全

### 苫前建設協会安全大会

六月十日町公民館において苫前建設協会主催による町内建設会社十八社から従業員百四十名



が参加し、「安全大会」が開催された。

この安全大会は、今年で十二回目。開催にあたり大会長である橋場一雄同協会会長から「厳しい経済情勢に伴い激減する建設業ではあるが、安全管理と従業員の健康管理を全力で取り組み、交通ルールを守りましょう」と注意を呼びかけ、「小さな危険、あなたが発見。みんなで改善、職場の安全。ストップ・ザ・交通事故。めざせワーストワンの返上」を大会スローガンに、地域職場での安全管理体制の充実と労働災害の撲滅、交通安全運動の徹底を確認しあった。

大会は、参加者を代表して株式会社山崎電気の本村大輔主任から労働災害撲滅と交通事故防止の悲願達成に向け、「決意宣言」が行われ、大会を締めくくった。

# 復元住居で放談会

郷土史研究会総会

六月二日苦前町郷土史研究会（会長野澤哲美）では、歴史観漂う古代の里チセ（復元住居）において、総会に合せて、郷土史研究家の高橋明雄氏（留萌市）を交え、放談会を開催した。

この放談会は、苦前町の歴史や生活について、会員相互が自由に語り合い、その郷土愛を再確認するもの。昭和におけるニシン漁の



炭火とともに熱く語り合う放談会

風景やニシンの加工方法などに会話も弾み、新潟県出身の高橋氏から「ニシン粕は農業肥料として新潟まで運ばれ、食糧不足の時代、ニシン粕に含まれていた数の子を指でほじくり、おやつ代わりとなっていた」と思いが紹介され、会員たちは、その生活に共感を覚えた。

なお、郷土史研究会の総会では、十七年度の事業計画で紙芝居の作成や学社融合事業への講師派遣、かわら版の発行などを決め、役員は留任となった。また、同会では郷土の歴史に興味のある新入会員を募集している。

## 役場でも軽装化

夏季の執務を快適に行う手段として、苦前町役場では七月から八月までの二か月間、庁舎内等での服装の軽装化を実施します。軽装は、職員各自が適切に判断することとなりませんが、社会常識を著しく逸脱するような服装は避けるものです。町主催の会議や行事、来客対応など儀礼上、軽装が不相当と認められる場合を除き、ノーネクタイ・ノー上着となります。この軽装化は、現在、国の機関や北海道の各機関でも広く取り組まれ、沖縄などはかりゆし（和風アロハシャツ）で地域性を示しているところもあります。まずは、町民の皆様にも快感を与えないこととしています。

## 新お神輿を購入

古丹別神社祭でお披露目

古丹別神社氏子会（会長嘉野利己）では、古丹別神社祭で使われる御神輿の老朽化に伴い新神輿を購入。六月二日古丹別神社本殿において入魂式が行われた。



入魂式後、お披露目された新お神輿

購入された神輿は、全長百八十センチ、巾八十二センチ、高さ百四十二センチで、担ぎ棒を含めると重さ約百キロほど。担ぎ手の衣装（白張）とともに、京都の業者から三百一万三千五百円で購入した。これまでの神輿は、昭和四十五年築別炭鉱閉山に伴い譲り受けたもので、老朽化と総重量二

## 「文芸」

苦前町文芸を語る会

（短歌）

誰が身とば焦がさんばかりに躑躅ゆ庭の一樹に蝉時雨降る  
古丹別 住吉 美恵

はりつめし心崩るる羅針盤迷はず北の故郷を指す  
古丹別 大矢根亮子

夏が来て浜茄子の花に光る風オロロンラインを祭り駆けゆく  
栄浜 横内 弘子

幼き日事故に片目を失ひし孫は明るき社会人なり  
長島 水谷 露子

病める身を労るやうな夕の月吾ひと口の粥を炊きつつ  
古丹別 木幡とく子

（俳句）

蒼天や 火月のつづじ なごり咲き  
古丹別 桑 風

類撫でる しだれ柳と 語る朝  
古丹別 林 千代美

### 川柳

百才を 夢に葉に しがみつき  
古丹別 運上 吉雄

シナリオは ママの手にある 入学日  
古丹別 今新きみ子

健康を 失う前に 休肝日  
古丹別 斎数 範章

やすらぎは 妻と温泉に 流す汗  
古丹別 関 武

（文責・鎌田）

歩の俺も いかと金の 夢を持ち  
苦前 鎌田 信夫

# リサイクルに一役

きょうりよくかい  
橋緑会が空き缶搬送協力！



苫前町高齢者事業団並びに古丹別小学校で回収された空き缶のリサイクルにおいて、橋場産業(株)の職員で組織されたボランティア団体「橋緑会」(代表東谷

敏夫)が協力し、6月24日トラックへ空き缶430キロが積み込まれ、留萌の回収業者へ搬送した。

この橋緑会は、日頃公共事業でお世話になっている地域に対し、貢献できるボランティア活動を実践していこうと、昨年9月に発足した。今後は、草刈奉仕や古丹別水辺の楽校などの植樹活動を予定しており、冬には除雪ボランティアも行うこととしている。



農産物消費拡大キャラクターのげんきくん(牛)とほっしー君(ほしの夢)も交通安全を呼びかける

六月二十日国道二二三号線沿いの力屋ローソク岩前駐車帯において、JA苫前町農協青年部

## 農畜産物消費拡大(農協青年部) 交通安全キャンペーン

(部長柴田雅紀)が、農畜産物の消費拡大と交通安全キャンペーンを行い、苫前産「ほしのゆめ(五百ㄱ)」と「牛乳パック(二百ㄱ)」六十個を配布した。この取り組みは、同部員一人の尊い生命が、交通事故で奪われたことを発端に、昭和六十年から実施され、配布されたお米は、部員たちが各家庭から持ち寄ったもの。当日は、晴天に恵まれ、配られたお米と牛乳に、思わずドライバーにも笑みがこぼれていた。



刈られた草を集める古丹別PG会員

集合した同愛好会会員二十名は、汗をかきながら草刈機で刈られた草をかき集め、青々とした芝生に満足し、早速プレーを楽しんでいた。

六月六日から古丹別パークゴルフ愛好会(会長青木幸隆)では、普段会員が利用している古丹別リバーサイドパークゴルフ場の自主管理に伴う草刈清掃を開始した。このパークゴルフ場は、十八ホールで国際公認コースとなっており、同愛好会が「自分たちが楽しむ施設は自らきれいにしよう」と自主管理(芝刈り、クラブハウス・トイレ清掃、消耗品の調達)を昨年から実施している。

## PGは自らきれいだ

古丹別PG愛好会自主管理

## 今年もドクガの幼虫発生 駆除作業を実施



ハマナスの葉に群がるドクガの幼虫

昨年、異常発生しました「ドクガ(幼虫)」が、今年も苫前地区で多くの生息が確認されています。町ではドクガ被害を防ぐため、六月十日職員が完全防備により発生している地域のハマナスやイタドリなどの防虫剤散布や草刈を実施しました。ドクガ幼虫は、ハマナスやイタドリなどの葉に群がりその葉を食べ成長しますが、接触した場合、腕や足などに湿疹がで、かゆみができる症状など考えられます。



完全防備で駆除作業を行う役場職員

草の茂っているところには、むやみに入らない。所有地の雑草刈りを行うなど環境衛生の保持に努める。幼虫が見られた場合には、バラ科植物を中心に農薬散布を行う。窓には網戸をつけ、夏の成虫が室内に侵入するのを防ぐこと。もし、ドクガに触れた場合絶対にこすらないこと。(まだ刺さっていない毒針毛が残っていることがあります)接触部分の毒針毛を取り除くため、ガムテープなどでそつと張り、引き剥がす作業を繰り返す。石鹸や洗剤を泡立て、その泡で洗い流す。衣類に毒針毛が付着した場合は、速やかに着替え、よく洗濯する。症状に応じて皮膚科医院などの医療機関に相談する。とにかく、みなさんご注意ください！



# 「消費者の日」消費者協会 キャンペーン実施

苫前町消費者協会（会長林千代美）は、「消費者の日」（五月三十日）の取り組みとして、



買い物客にチラシを配布する消費者協会の会員たち

## 三毛別開拓者魂を偲ぶ

～感想記帳読み～その十二～



三毛別熊事件における復元地は、毎年多くの来訪者が訪れており、今年は5月16日にオープン。

備え付けの記帳には、心打たれる感想が数多くつづられており、その一部を紹介いたします。

「熊嵐」を読み現地へ来てみて、開けているのに驚いています。もっと山奥の様な気がしていたが未永く語り継いでほしい。（16.5.23江別市）この話を聞いて、この場に來ました。これでよかったです。（16.6.20 西宮市 男性）

昔の人たちの開拓精神に、ただただ感謝します。（16.6.21 男性）

こんな山中まで開拓していたとは。熊と人間の共存のむずかしさを感じます。（16.6.27江別市男性）

イメージアップ苫前推進協議会

六月十一日架空請求などの悪質商法における被害防止キャンペーンを実施した。午後三時からJ A 苫前町Aコープ店前と中央スーパー古丹別店前で会員九名が参加し、高齢者を狙う悪質商法による被害防止や消費者契約法のパンフレット百五十部を配布。買い物に訪れた町民一人ひとりに注意を呼びかけた。中には、「百八十万円もの布団を買ってしまった」という人もおり、「高額な物は、誰かに相談してから契約してください。もし、契約しても今回はしかならないとあきらめず、すぐにクーリング・オフの手続きをして下さい」と消費者協会の活動を訴えていた。

## 危険物安全週間で 防火パレードと研修会

危険物安全週間（六月五日～十一日）に合せて、苫前町危険物安全協会と北留萌消防組合（苫前・古丹別両支署）の合同による防火パレード及び研修会が六月六日実施された。

パレードには、同協会会員及び消防の車両二十五台が参加。古丹別及び苫前市街地で、危険物の取扱いなどの防火運動を呼びかけた。また、パレード終了後には、役場消防会議室にて研修会が開催され、参加した会員たちは「危険物施設の危険性に対するリスクマネージメント」について学んだ。

危険物の安全管理については、消防古丹別支署電光掲示板でも掲載され、同安全協会会員二十六事業所でものぼりを立ててPRしている。



パレードに参加した危険物安全協会会員たち

## ファイヤー通信 「ルールを守って楽しい花火」

必ず水を用意する。花火を人に向けない。

### 遊ぶ時の注意

花火に書いてある遊び方、注意書をよく読んで必ず守りましょう。

花火は火薬を使っています。危険ですから正しく使う。花火はほぐしたり、ポケットに入れたりしない。花火を人や家に向けたり、燃えやすい物のそばで遊ばない。たくさんの花火に一度に火をつけない。正しい位置に点火する。花火は大人と一緒に遊び、夜遅くまで騒がない。使用方法のわからない花火は、買った店に聞くこと。



筒物花火は筒の中をのぞかない。風の強い時は、花火遊びをしない。衣服に火がつかないように注意する。水を用意してあとかたづけを必ずする。不良花火は買った店に戻すこと。

毎年この季節が来ると、夏の風物詩である花火で遊ぶことが増えます。花火は様々な音や光で私達を楽しませてくれますが、花火が原因での火災や負傷事故などが発生しています。楽しい花火を安全に遊ぶために次のことを守りましょう。



**火事・救急は119番!**

北留萌消防組合消防署 苫前支署 64-2321  
古丹別支署 65-4119

# すすきの会場で躍動！ライオン賞

六月十一、十二日の両日札幌市で開催された第十四回YOSAKOIソーラン祭りに、苫前麟萃会を事務局とする合同チーム



札幌の観衆を沸かせた舞踏連「瞬」の演舞（会場：本郷通西コース）

ム・舞踏連「瞬」が、念願のすすきのファンキー会場出場を果たし、その連帯感と躍動感で観衆を魅了し、見事「ライオン賞」を獲得した。

合同チームは二日間で、九会場十七回の演舞で、ハードスケジュールをこなしながらも、晴れの舞台で踊れることを喜びに沸き、力強く留萌管内をアピール。「老若男女を問わず、地域一丸となつて踊りを楽しんでい

# もどせ青春！楽楽クラブ

ストレッチ体操で体力診断！



足の指先で鉛筆をつかむ運動の指導を受ける高齢者たち

6月13日町教育委員会社会教育課では、古丹別老人クラブ会員を対象に、高齢者の健康づくりと仲間づくり、病気の予防を目指し、「もどせ青春！楽楽クラブ」

を開催。寝たきりにならないためのストレッチ体操で楽しく体を動かした。

会場となった古丹別地区地域集会所には、同クラブ会員15名が参加し、指先から手足まで、ゆっくりと体を伸ばしながらの運動を楽しみ、「体が少し、伸びたような気がする」と、自分の体や筋力の状況を確認していた。

# 窓拭き・草取りで汗！

## 苫高全校ボランティア

六月二十四日苫前商業高等学校の生徒九十一名が、古丹別市街地での老人住宅や障害者世帯、商店街、公共施設などの窓拭き及び草取りを実施した。

この窓拭き全校ボランティアは、平成十三年から実施され、今年で五年目。汗を流しながらも大きな窓を一枚一枚丁寧に拭きあげていった。

作業が終了し、商店主からは「店内が明るくなりました。ありがとうございます」とお礼を述べると、生徒たちは「とってもいい気分です」とボランティアの喜びを実感していた。

また、独居老人宅からも「冬の除雪と合せて来ていただき、大変助かります」と感謝されていた。



黙々と窓拭きをする生徒たち

# 初の総合優勝！

## 留萌管内スポーツフェスタ夏季大会



見事総合優勝を果たした選手たち

硬式テニスやバレーボールでは、会員の減少により町内では練習ができず、他町へ出向いて練習するなど、選手集めに苦労していたが、往年のプレーヤーの協力によりチーム編成。その入賞が、総合優勝へ弾みをつけた。

また、昨年この大会では、苫前町での開催にもかかわらず、七競技中三種目のみの参加にとどまり、その悔しい思いを今大会で晴らす形となった。

大会結果は、次のとおり

- 総合順位
- 優勝 苫前町（44得点）
  - 二位 留萌市（36得点）
  - 三位 遠別町（26得点）
  - 四位 天塩町、五位 羽幌町・幌延町、七位 増毛町
  - 八位 小平町、九位 初山別村

種目別苫前町順位

- ソフトボール 二位
- バレーボール 三位
- バドミントン 二位
- 硬式テニス 三位
- パークゴルフ 一位
- ゲートボール 一位

六月二十六日幌延町を中心に開催された第五回留萌管内スポーツフェスタ夏季大会において、苫前町が初めて総合優勝を飾った。この大会は、留萌管内九市町村から五百名が参加し、ソフトボール、バレーボール、バドミントン、硬式テニス、ミニバレー、パークゴルフ、ゲートボールの七競技で競われた。苫前町からはミニバレー以外の六種目六十四名が参加。パークゴルフとゲートボールで優勝し、他の競技でも、すべて三位以内と参加全種目で入賞を果たし、圧倒的強さで総合優勝をもち取った。

# 社会教育からのお知らせ

## 町民ソフトボール大会



期 日 7月24日(日)  
会 場 苫前町野球場、他  
対 象 中学生以上の一般町民

昨年は9チームの参加があり、楽しく熱い戦いが繰り広げられました。今年も多くの方の参加をお待ちしております。

## ジュニアスイミングスクール



期 日 8月2日(火)～8月5日(金)  
会 場 苫前町B & G海洋センター  
対 象 小・中学生

夏休みにもっと泳げるようになってみませんか。短期集中練習で、自分の泳ぎをレベルアップ!

詳しい内容は後日回覧でお知らせします。

## コミュニティ助成金で『芝刈機』を購入

古丹別連合町内会(堀治会長)が、このほど財団法人自治総合センターのコミュニティ助成事業の助成金を受けて、町内の公園やパークゴルフ場など地域の緑化整備を行うために、芝刈機を購入しました。

コミュニティ助成事業は、自治総合センターが宝くじの収益金を財源として、地域住民のコミュニティ活動の推進と発展を図ることと、宝くじの普及広報を目的として行われているものです。

この芝刈機を購入・活用により、今まで以上に安心して、しかも快適にスポーツ・レクリエーション施設を利用していただくことができるようになります。そして、各施設が健康の保持増進や地域住民同士の「世代間交流」や「憩い」の場となり、より一層のコミュニティ活動の充実が図られることが期待されます。



## ボランティアを募集しています

公民館・スポーツセンターでは、各事業のボランティアを募集しています。

内容はイベントの企画や準備、運営などさまざま、これまでも多くの人たちがボランティアとして関わり、その楽しさを味わってきています。

あなたの気持ちを地域づくりに活かしてみませんか? どんな小さなことでも構いません。「私にもできそうだ」と思う方、興味のある方は、まず気軽にお電話でご連絡ください。

～あなたの学びたいを応援します～

ご相談・お問い合わせは **苫前町公民館**

でんわ 65 - 4076

e-mail syakaikyoku@town.tomamae.lg.jp

HPアドレス <http://www.town.tomamae.lg.jp/>



# 甘いイチゴでいっぱい

## 柴田農園でカンガルススクール



イチゴを思う存分味わう子どもたち

六月十八日字九重の柴田雅紀イチゴ農園で、カンガルススクールが行われ、参加した親子十一組三十名が、イチゴ狩りを楽しんだ。

同農園は、春の低温で十日ほど遅れていたが、六月十一日にオープン。品種「きたえくぼ」と「けんたろう」が用意され、ハウス内で甘いイチゴの香りに包まれながら、参加した子どもたちは「甘くて、おいしい」と口いつぱいにイチゴを頬張っていた。

# + Dr.小野の処方せん

## 食中毒の病原細菌と予防

食品内毒素型（食品内で増殖した菌が産生する毒素を摂取）

ブドウ球菌

2～6時間で急激な吐き気、嘔吐、腹痛、下痢

ボツリヌス菌

いずしなどで12～24時間で神経症状、悪心嘔吐

生体内毒素型（食品内で増殖した大量の菌を摂取し、腸管内で毒素産生）

腸炎ピブリオ

汚染魚介類にて4～48時間で下痢、腹痛、嘔吐、発熱

腸管出血性大腸菌

主にO-157。給食や飲用水からベロ毒素にて出血性下痢

侵入型（腸管内に侵入し発症）

サルモネラ

鶏卵、食肉より8～48時間で腹痛、嘔吐、下痢、発熱

カンピロバクター

鶏肉などから2～7日で発熱、倦怠感、悪心嘔吐

### 《予防方法》

大部分の原因菌は30～37℃で最もよく増殖し、マイナス20℃以下では休止冬眠状態で生存。解凍すると増殖します。

増殖させないためには、高温（65度で数分間、75度で1分以上の加熱）で殺菌し、乾燥、低温保存する。調理器具の洗浄、乾燥、手洗いの励行も大切です。

苦前クリニック院長 小野哲郎

## 健康ばんざい

# エキノコックス症について

今月の担当は佐藤保健師です。

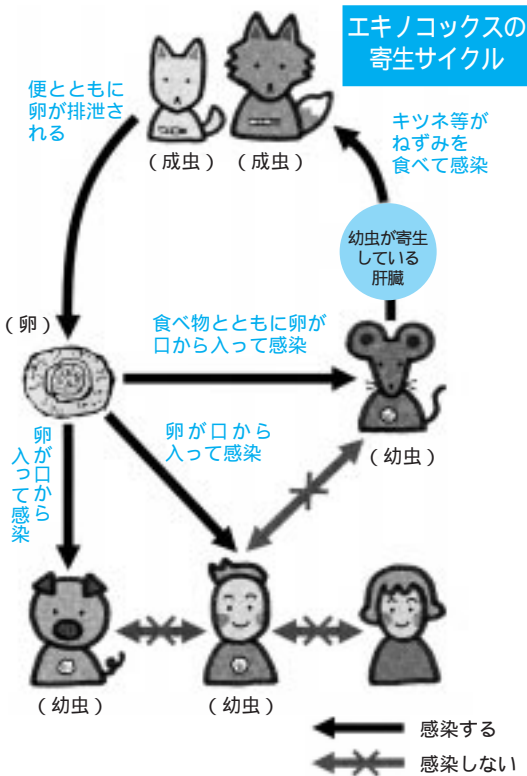
苦前町でも、よくみかけるキツネ。最近では、山の中だけではなく、家の近くで見かけるようになりましした。このキツネが、主な感染源となる病気があります。それがエキノコックス症です。

エキノコックス症とは、エキノコックスという寄生虫が、キツネに寄生し、そのキツネやその糞に直接触ったり、糞に汚染された山菜や沢水を口にすることで、感染する病気です。

エキノコックス症は、主に肝臓に寄生して起こる病気です。自覚症状としては、肝機能障害に伴う疲れやすさ、上腹部・肝臓のあたりの不快感、黄疸などの症状があげられます。

また、キツネだけではなく、エキノコックスの幼虫が寄生したネズミを食べたイヌやネコにも寄生することがあり、ネコやイヌから人に感染する危険性もあります。

しかし、感染してから自覚症状が出るまでに数年から数十年かかるため、自覚症状が出る頃には、かなり病気が悪化している可能性があります。命にかかわることもあります。



ですから、自覚症状はなくても早期発見するために、検査を受け、感染していないか、確認することが大切です。

苦前町では、五年に一度検査が受けられるように、対象地区を決めて、毎年エキノコックス症検査を行っています。

今年度は、小川・岩見・東川・香川・長島・三溪・九重・旭地区が対象地区となります。

日程は、平成17年9月1日（木）～4日（日）、平成18年2月2日（木）～3日（金）です。

（総合健診と同様の日程です）

対象地区の方は、今年度ぜひ検査を受けましょう。

詳細については、後日改めて回覧致しますので、ご覧下さい。

## エキノコックス症の予防

外から帰ったら、必ず手を洗いましょう。

野山の果実や山菜などは、よく洗うか、十分に熱を加えましょう。

生ゴミなどキツネの餌になるものは、きちんと処理をしましょう。

キツネを餌付けしたり、手に触れることは、絶対にやめましょう。

沢水や小川の生水は飲まないようにしましょう。

野ネズミを捕まえて食べないように、犬の放し飼いは、やめましょう。

みんなで築く

すこやかライフ

豊かな老後

国民健康保険・老人保健ガイド

国保税税率改正のお知らせ

国保・老健Q&A

国民健康保険税における税率改正内容

区分	基礎課税額	介護給付金課税額	
	改正なし	改正前	改正後
所得割	8.00%	0.40%	0.65%
資産割	40.0%	4.50%	6.50%
均等割	31,000円	5,000円	6,000円
平等割	33,000円	3,100円	5,000円
課税限度額	530,000円	80,000円	80,000円

**国保の保険税はどのようになっているの？**  
 決められているの？

**保** 險税の額は、国保加入者の医療費総額で算定される基礎課税額（医療費分）と、介護保険第2号被保険者の人数に応じて算定される介護納付金課税額（介護保険分）とに区分され、この合算額が国保税の課税額となります。（年六期にて納付書を発行）

**基** 礎課税額は、これまでの実績など予測される医療費の総額を算出し、皆さんが受診時に支払う一部負担金額と国などからの補助金などを除いた分が基礎課税額の必要総額となります。

この必要総額を国保加入世帯の負担能力や加入者数に応じて、公平に負担することとなります。（但し、五十三万円が限度です。）

**介** 護納付金課税額は、苦前町国保が第2号被保険者数（四〇歳以上六五歳未満）に応じて納付する介護納付金額から、国などからの補助金を除いた必要総額を、第2号被保険者がいる世帯で、負担能力や加入者数に応じて負担することとなります。（但し、八万円が限度）

この保険税率のうち、介護納付金課税額は、介護保険制度が始まった平成十二年度以降、高齢人口の増加とともに、介護納付金額が増加し、これまでの税率では、不足が生じる事態となってきました。

このことから町では、国保運営協議会の答申を経て、六月の町議会で「苦前町国民健康保険条例の一部を改正する条例」を提案し、原案どおり可決されました。

この決定により平成十七年度からは、上記の表のとおり介護納付金課税額に係る保険税率を改正することとなりましたので、加入者の皆さまのご理解をいただき、国保事業の運営に、ご協力くださいますようお願いいたします。（基礎課税額分についての変更はありません。）

介護保険・福祉Q&A

介護保険で利用できるサービス～施設サービス

介護保険制度では、在宅でサービスを受けるか、施設に入所してサービスを受けるかは利用者本人が選択することとなります。施設サービスを利用できるのは要介護1～要介護5までの要介護認定を受けた方に限られます。

介護保険で利用できる3種類の施設		
介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）	介護老人保健施設	介護療養型医療施設
入浴、食事、排泄、着替えなどの日常生活上の世話、機能訓練、健康管理、レクレーション等	介護やりハビリ、必要な医療を行い、在宅生活への復帰を目指すリハビリ施設	療養上の管理、看護や医学的管理のもとでの介護や世話、機能訓練等

施設サービスを利用したときの自己負担はいくらかかるの？

施設サービス費の1割 + 食費(標準負担額) + 日常生活費(理美容代など)

費用のめやす(1ヶ月の自己負担)

要介護度	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設
要支援	施設サービスは利用できません		
要介護1	20,310円	24,570円	24,030円
要介護2	22,440円	26,040円	25,590円
要介護3	24,540円	27,630円	27,150円
要介護4	26,670円	29,250円	28,630円
要介護5	28,770円	30,840円	30,240円

食費の標準負担額(1ヶ月の自己負担分)

(1) 課税世帯	(2) 住民税世帯非課税者等	(3) (1)(2)以外
約23,400円 (1日780円)	約15,000円 (1日500円)	約9,000円 (1日300円)

お問い合わせ先 苦前町役場町民課しあわせ係  
0164-64-2215(内線273)まで

# ホワイトビーチオープン

7月2日～8月20日

夏の行楽シーズン到来に合せ、海水浴場ホワイトビーチが七月二日オープンしました。つきましては、楽しい夏の思い出として、ホワイトビーチを安心して安全にご利用いただくために、次の「海水浴場利用者の心得」をお守り下さい。

## 海水浴場利用者の心得

標旗、うき等によって区画された区域内で遊泳しましょう。かならず準備体操を行い、身体を濡らしながら、水に入ります。次のような状況のときは、遊泳しないようにしましょう。開設者が定めた利用時間外（夜間・早朝）であるとき

開設者が遊泳することが危険又は不適当と認め、遊泳を禁止したとき  
体調が悪いとき  
酒類を飲んだとき

遊泳区域を表示する標旗、うき等を移動したり、壊したりしないようにしましょう。  
他人の迷惑となる行為をしないようにしましょう。  
幼児や児童には、必ず親など保護者が同伴しましょう。

空き缶、空ビン等のゴミは、家庭に持ち帰りましょう。  
魚貝を採取しないようにしましょう。  
遊泳区域内に、ヨット、サーフボード、モーターボート、水上オートバイ等を乗り入れ

ないようにしましょう。  
モリや水中銃等を使用しないようにしましょう。  
危険な遊技等をしないようにしましょう。  
公衆の安全、衛生及び風紀を損なうような行為はやめましょう。

海水浴場へ自家用自動車で出かけるときは、交通の混雑が予想されますので、特に往復での交通事故防止に努めましょう。  
高波一桁以上、気温二〇度以下の場合、遊泳禁止となります。



マナーを守り、楽しい夏をお過ごし下さい。

## 夏の行楽シーズン本格化 交通事故防止の心構え

### 【ドライバー】

無理な行程とならないように、事前に運行計画を。

行楽地では、渋滞が予想されます。余裕もって急がないことに心がけましょう。

急ぐあまりスピードを出し過ぎたり、無理な追い越しは、重大事故の原因となります。譲り合いの気持ちで、ルールやマナーを守りましょう。

### 【歩行者】

夏は暑さでドライバーの注意力は散漫になりがちです。あなたの存在に気付かないことも。道路を横断するときは、車が止まると油断せず、停止してから横断しましょう。

羽幌警察署

## 平成17年度 自衛官募集

# スマイル 住まいる情報 Information

## 道政への苦情は、 苦情審査委員へ

道の仕事のことで、皆さん自身の利害にかかわる苦情は、「苦情審査委員」に申し立ててください。

簡易な手続きで、苦情審査委員が中立的な立場から、道の業務や制度の内容を調査するなど苦情の解決に向けて、迅速に処理します。

個人情報の保護には十分配慮します。

### 苦情の窓口

道 庁：道民相談センター

各支庁：道民相談室

苦情の申し立て方法

所定の「苦情申立書」に必要事項を記入し、提出

### 提出方法

郵送、ファックス、メールでも申立てができます。

制度の概要と苦情申立書をセットにしたリーフレットを用意しています。

苦情の窓口へ連絡して下さい。

苦情審査委員制度のお知らせ

北海道のホームページのトップページの苦情・照会の窓口からご覧下さい。

<http://www.pref.hokkaido.jp/menu.html>

### 連絡先

北海道総合企画部道民相談センター

札幌市中央区北3条西6丁目

TEL 011-231-4111

(内線 22-706・22-707)

FAX 011-231-8181

E-mail: [soudan.soudan@pref.hokkaido.jp](mailto:soudan.soudan@pref.hokkaido.jp)

他 各支庁総務部総務課道民相談室

募集種目	資格	受付締切	試験 期 日	入隊(校)
2等陸海・空士	10月採用 18歳以上27歳未満の男子	8月15日	8月21日	平成17年10月
	3・4月採用 18歳以上27歳未満	9月8日	男子：9月16日、女子：9月26日	
曹 候 補 士	18歳以上27歳未満	9月8日	1次：9月17日、2次：10月8日～10日	平成18年 3月下旬 ～4月上旬
一般曹候補学生	18歳以上24歳未満	9月8日	1次：9月17日、2次：10月8日～10日	
航 空 学 生	高卒(見込含)21歳未満	9月8日	1次：9月23日、2次：10月15日～20日 3次：11月13日～12月9日	
看 護 学 生	高卒(見込含)24歳未満	9月30日	1次：10月16日、2次：11月18日・19日	平成18年4月上旬

試験科目は、募集種目により異なります。細部はお問い合わせください。  
問い合わせ先 自衛隊留萌募集事務所 0164-42-4650

七月は  
不正軽油防止強化月間

北海道では、軽油に灯油や重油を混和するなどした不正軽油による軽油引取税の脱税を防止するため、7月を「不正軽油防止強化月間」と定め、不正軽油を「売らない。買わない。使わない」運動を展開しています。

不正軽油について、見たり聞いたりしたときは、不正軽油110番(0120・971・191通話料無料)まで情報をお寄せ下さい。なお、Eメール(rumoi.zeimu1@pref.hokkaido.jp)でも情報を受け付けています。

留萌支庁総務部税務課

職場の男女差別に関する相談は  
北海道労働局雇用均等室に!

雇用均等室では、次のような職場における男女異なつた扱いについての相談に応じています。

運転手に応募しようとしたら女性だからと断られた。  
女性は、長く勤めても管理職になれない。  
妊娠を会社に報告したら、契約社員への変更に応じなければ辞めてもらうと言われた。  
上司からの性的嫌がらせを会社に報告したのに、何もしてくれない。  
電話番号 〇一一七〇九二七二五  
受付時間 平日の八時三〇分から十七時

全国植樹祭  
シンボルマーク募集

第五十八回全国植樹祭北海道実行委員会(事務局・北海道水産林務部)では、平成十九年に苫小牧市で行われる第五十八回全国植樹祭のシンボルマークを募集しています。

公募作品  
大会テーマ「明日へ未来へ北の大地の森づくり」をイメージした親しみやすく、覚えやすいシンボルマーク。  
作品規格  
日本工業規格A4版用紙に、天地左右各3mmの余白をとり、デザイン及び製作意図を明記。  
作品裏面に応募者の氏名、住所及び職業を明記。  
作画は、コンピュータグラフィックソフト又は、手書きによるものとし、色彩は自由。

サマージャンボ宝くじは  
1等前後賞合せ3億円!

1等 2億円×42本  
前後賞各5,000万円  
2等 1億円×42本  
3等 1千万円が420本!  
(3等1千万円は、5年ぶり復活!)

発売期間: 7月15日(金)から  
8月2日(火)まで  
抽選日: 8月12日(金)

この宝くじは通信販売でも買うこともできます。  
この宝くじ収益金は、市町村の明るく住みよい街づくりに使われます。  
昨年のサマージャンボ宝くじ(第479回全国自治宝くじ)の時効(平成17年8月15日)が迫っておりますのでお忘れなく。

灯台フォトコンテスト  
作品募集!

第一管区海上保安本部では、海上交通の安全を確保するための灯台の意義や重要性を理解いただくため、北海道にある灯台の風景写真を募集しています。

応募期間 九月三十日まで  
賞 第一管区海上保安本部長賞他十八点  
入賞発表 平成十七年十一月一日(灯台記念日)  
応募作品 アマチュアの方のみ参加可、今年四月一日以降撮影のもの、一人二点以内で、他のコンテストに応募不可  
応募問合せ先 第一管区海上保安本部企画課(〒047-8560小樽市港町五三三) 電話〇一三四・二七・〇一一八 Eメール kousukikaku-1@kaiho.mlit.go.jp

トップの決意とみんなの創意!  
リスクを減らして進める安全!

全国安全週間2005

7/1 ▶ 7

厚生労働省では、中央労働災害防止協会と共同で、安全意識の高揚と安全活動の定着を図るため、毎年全国安全週間を実施しています。

7月 町税の納期

今月は、  
固定資産税  
国民健康保険料  
介護保険料  
の納入月です。  
納期内納入にご協力願います。

「ご厚志に感謝します」

苦前町への寄付  
古丹別 加藤 富雄 様  
社会福祉協議会への寄付  
古丹別 伊藤 幸夫 様  
各団体クラブ等への寄付  
(九重白葉会へ)  
九重 倉田 靖子 様

戸籍の小箱

慎んでお悔み  
申し上げます

氏名	年齢	死亡日	住所
滝本 春吉 (78歳)		5月21日	古丹別
深井 末蔵 (67歳)		5月23日	旭
運上 一俊 (80歳)		5月29日	三豊
杉野 優 (75歳)		6月1日	九重

お詫び

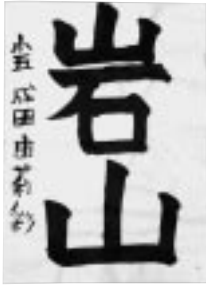
広報六月号における出生者齋藤旺佑さんの続柄長男を長女と誤って記載しておりました。関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

古丹別小学校児童の作品

『岩山』



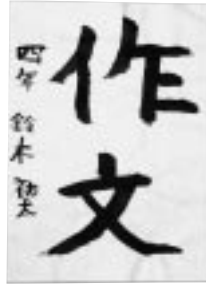
5年 成田 由莉彩さん  
岩山のバランスがうまくとれて、良かったです。



『作文』



4年 鈴木 祐太くん  
文の最後のはらいが、うまく出来ました。



『車からトラック』



車のかたちがうまくなりました。

2年 中嶋 良純くん



『岩山』



5年 伊藤 佳織さん  
山のバランスがうまくとれて、良かったです。



『作文』



4年 前川 希くん  
いつも以上に、とても上手にできて、うれしかったです。

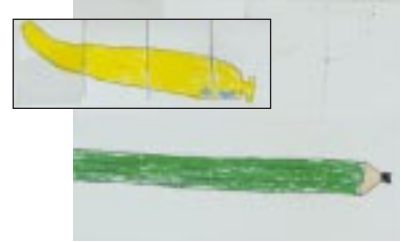


『バナナ』



わたしはバナナが好きなので、えんぴつがバナナにかわるのをつくりました。

2年 齊藤 ななみさん



このコーナーは、町内の保育所（園）や小中学校の園児や児童生徒の作品を紹介しています。ひとりでも多くの作品を紹介したいと思っています。  
8月号の予定は苫前中学校の生徒のみなさんです。

『岩山』



5年 田井 水晶さん  
文字の大きさが、そろえられて、よかったです。



『作文』



4年 花井 美希さん  
「作文」のバランスがよかったです。



ちびっこギャラリー

ちびっこギャラリー

ちびっこギャラリー

風力発電の売電状況  
(町営分)

17年の実績(1月~5月分)

25,045,309円

平成17年5月分の実績

・供給電力量

187,140 kWh

2,348,139円

(設備利用率11.81%)

苫前保育園の運動会に参加し、組別の保護者競技に出場。何とアンカーをすることに！周りをみると、二十代のお父さんばかり。(出場したことを後悔)走ってみると、想像したとおり。昔は「速かった」と子どもに言ってみても、まるで説得力なし。やはり、ダイエットは必要と実感した一日でした。

編集雑誌記帳

苫前町の交通事故情報

平成17年5月末現在

発生件数 死者数 負傷者数

2件 0人 2人

交通事故死ゼロ日数は

5月31日現在で395日